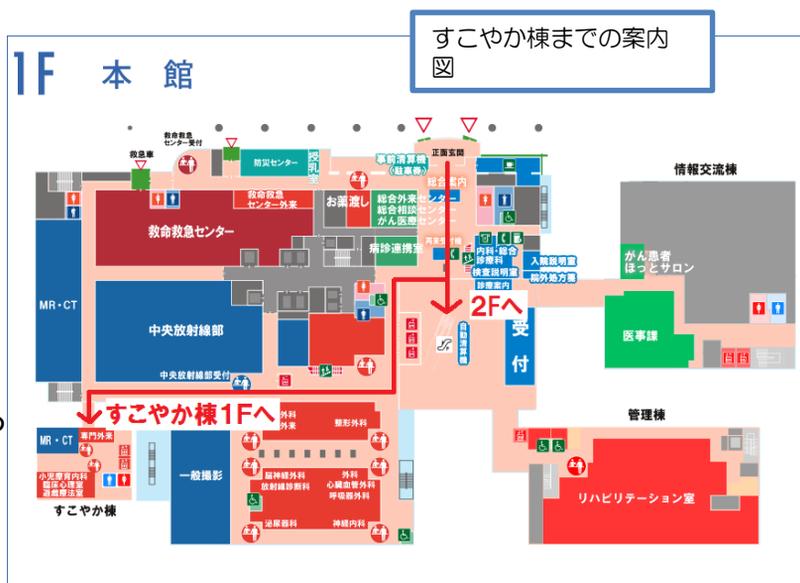


外来化学療法センターのご案内

外来化学療法センターは、一般外来から少し離れたすこやか棟5階にあります。すこやか棟5階までエレベーターであがり、降りると受付があります。

本館の正面玄関から一般外来方面へ進み、すこやか棟はそこから西方向にあります。エレベーターで5階まであがってください。



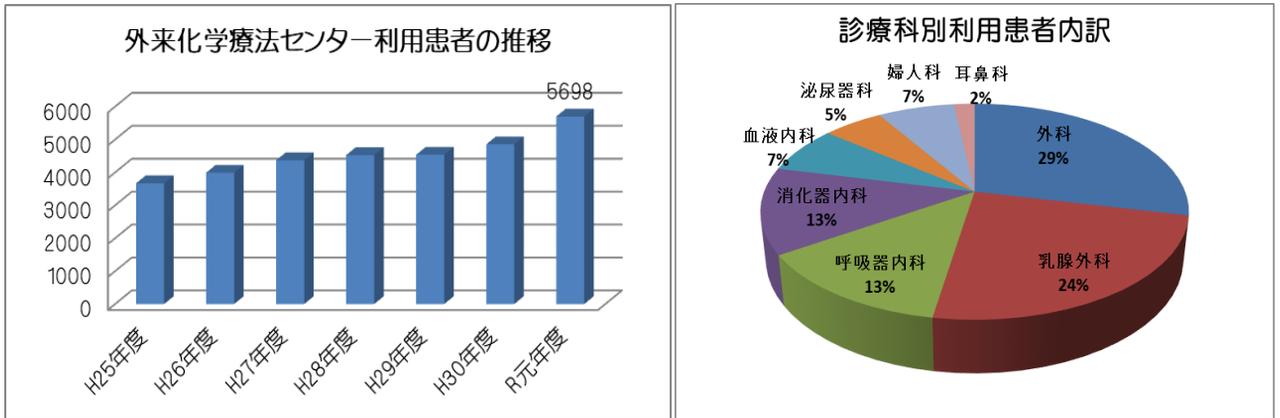
設備

当センターでは、ベッド15床、リクライニングチェア5床とベッド主体の構成です。各ベッドには救急用の酸素と吸引器を設備、テレビを設置してあります。点滴中は自由にテレビを見ていただくことができます。ベッドの間はカーテンや壁などで仕切ることができ、プライバシーに配慮した配置になっています。またトイレは3か所設置し、混雑しないようにしています。



患者数

毎年、患者さんの利用件数が増えています。外来化学療法センターには医師1名、看護師8～9名、薬剤師3～4名が常駐しており、薬剤の調製、患者さんの状態の確認を安全第一で行っています。1日平均24人/日、多い日は30人以上の予約の日もあります。



体制

外来化学療法を行う患者さんに安全、また快適に安心して治療を受けて頂くために当番制で医師が常駐しています。

スタッフ 看護師8～9名（がん化学療法看護認定看護師2名）

看護クラーク2名

医療クラーク1名

薬剤師4名（がん専門薬剤師、外来がん治療認定薬剤師1名）

レジメン

レジメンとは、がんの薬物療法を安全に行うために、薬剤の種類や量・方法などを時系列で示し、制吐剤や輸液も含めた全体治療計画です。当院の化学療法は院内登録されたレジメンに従って実施しています。令和2年7月1日現在、総数393のレジメンが登録されています。

薬剤調製

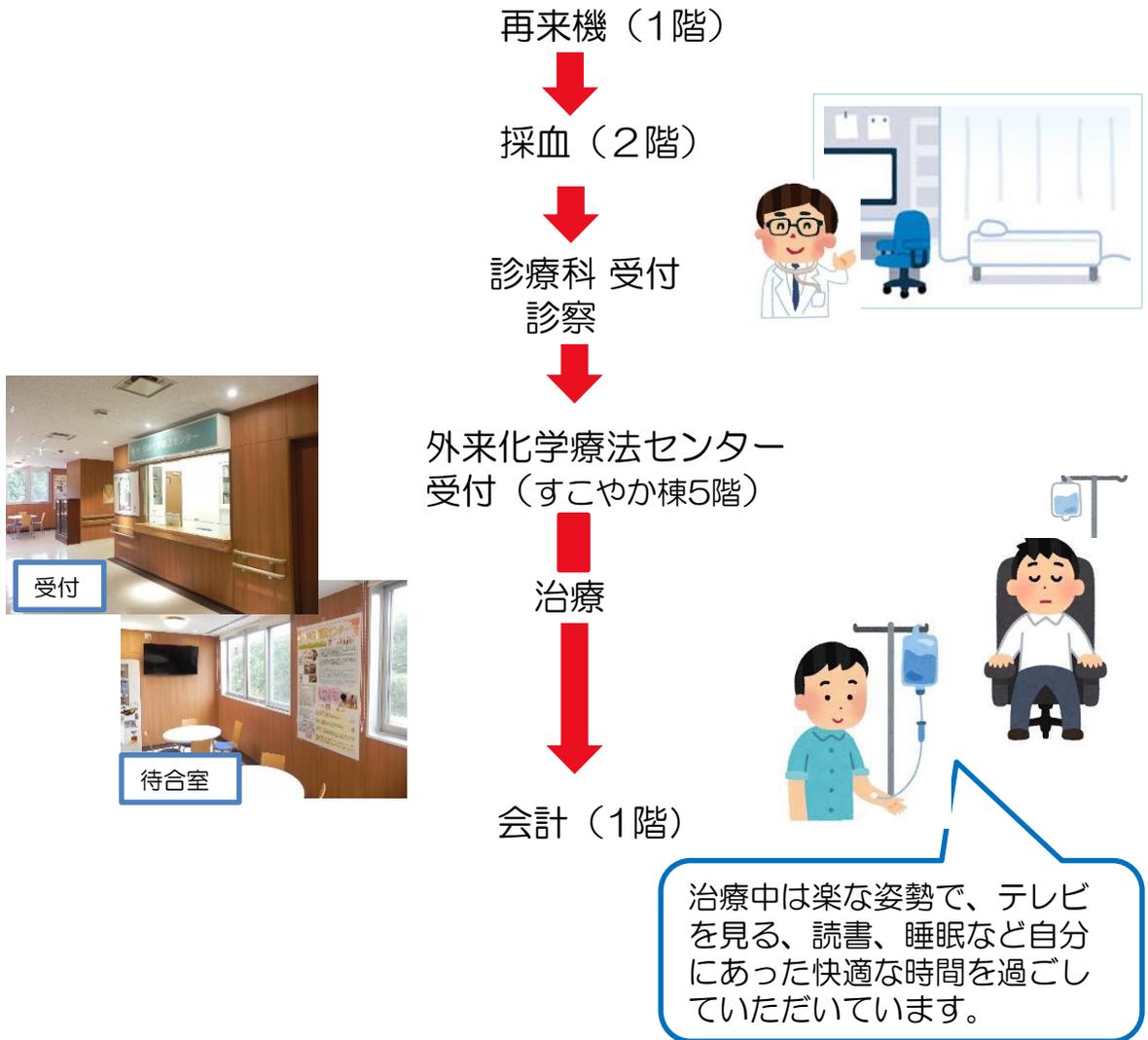
薬剤の調製は同じフロアに設置してある無菌調製室にて薬剤師が行っています。そのため、薬剤搬送の時間短縮が図れています。



無菌調製室

診療の流れ

化学療法治療の当日の流れ



看護

看護師は、治療中の患者さんにリラックスしていただき、ゆっくりとお話ができる環境をめざしています。患者さんの化学療法に対しての不安や疑問について、少しでも軽減、解決できるよう努めています。気兼ねなく私たちスタッフにお声をかけてください。また、治療を継続して行うことができるよう、医師、看護師、薬剤師、栄養士、ケースワーカー、緩和ケアチームなど多職種と連携し、チーム医療でケアを提供させていただきます。



スタッフが協力して
ケアに当たっています

化学療法看護外来、薬剤師指導、栄養指導などを行っています。

